



エルサレムの旧市街とその城壁



世界遺産とメイキャップ



エルサレムのチャーターメンバー 1929年
21人のチャーターメンバーがいました。そのほとんどはイギリスの役人でした。その緊迫した時代には、強力な英国の支持がなければクラブを設立することは全く不可能でした。



● 会長挨拶

会長 堀内満喜子君

皆さんこんにちは！

10月27・28日の地区大会に出席していただいた皆さまお疲れさまでした。卓話の時間に5名の方に感想をお願いしていますので、後ほどよろしくお願ひ致します。

きょうは、悲しいお知らせをしなくてははいけません。三島RCの名誉会員であります小笠原 豊君が、11月1日(木)にお亡くなりになりました。1974年3月13日に入会され44年の長きに渡り、三島RCに多大なる貢献をされました。特に合唱団での活躍は素晴らしい歌声で団員たちを引っ張って下さり、たくさんの思い出を残して下さいました。小笠原先生の偉大なる業績と人格に深く敬意を表したいと思います。ここで小笠原先生を偲んで黙祷をささげたいと思います。黙祷・・・

次に嬉しいお知らせです。

一定の手続きが済みまして当クラブに正会員として、今日入会されました岩崎守弘君の入会式を後ほど行います。スポンサーであります杉村伸二郎君と松田吉嗣君どうぞよろしくお願ひ致します。

それから、久保田副会長退会により副会長選出のため10月24日に臨時パスト会長会を開催しました。パスト会長会にて青田守弘君が副会長に選出されました。今月の指名委員会まであまり日にちがないため、持ち回り理事会により青田守弘君が副会長に承認され、青田副会長は副幹事を久保田君が選任されていまして住本君を指名致しました。よって、副会長に青田守弘君・副幹事に住本慶一郎君を会員の皆様の承認を得たいと思います。拍手をもって承認をいただきたいと思います。拍手多数により承認されました。ただいまより、副会長・青田守弘君 副幹事・住本慶一郎君に決まりました。

皆さんご承認ありがとうございました。また、管理運営委員長が空席の為、三島RC細則第3条4節により今日の理事会にて後任者を任命したいと思います。

次に、三島RC細則3条1節に基づき次年度の理事・役員

候補を受け付けます。立候補の締め切り日は11月20日(火)です。

希望者は私、堀内までお申し出下さいませ。以上です。

● 出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	37 / 43	88. 37%	40 / 43	93. 02%
今回	33 / 42	78. 57%	会員総数: 46名	

<欠席者>

- ・高木君 ・高原君 ・松田君 ・宮内君 ・山岡君 ・山本君
- ・米山君 ・渡辺(妙)君 ・渡辺(光)君

● 幹事報告

幹事 佐藤浩美君

- ①地区大会御出席頂きました皆様、朝早くからありがとうございました。本日報告発表の皆様宜しくお願ひ致します。
- ②11月4日(日)伊豆魂神社50周年記念例祭・奉賛会式典に三島RCが理事の為、会長が出席されました。
- ③11月8日名誉会員である小笠原豊君のお通夜、ご葬儀が執り行われます。
- ④今月は、ロータリー財団月間です。
- ⑤次週の卓話は、ゲスト卓話に芦田博之氏、三島の古代史は日本一おもしろい会代表をお招きしお話し頂きます。
- ⑥次々年度、理事役員立候補は締め切りが20日までと、なっております。宜しくお願ひ致します。
- ⑦一月の四クラブ合同新年会が11月10日(木)18:30～みしまプラザホテルにて行われます。12月10日までに、出欠確認をお願いしたいと言う事ですので皆様のご協力をお願い致します。
- ⑧例会終了後、理事役員会を開きます。理事役員の皆様お集まりください。



星合義弘君

今回でロータリークラブ入会以来、3年連続で地区大会に出席しました。鈴木学園前をほぼ定刻通り6時45分に出発し、ドライバーの頑張もあり9時ころには、会場の甲府富士屋ホテルに着きました。敷地内にコンビニが併設されており、午後1時過ぎまで食べ物は配布されないとの事でしたので、朝食抜きの私は、あわててコンビニに飛び込みました。本会議と大懇親会の会場は広さ約450坪、天井高7メートルの大きな会場でした。会場に入り最初に気が付いたことは、広いステージ上に椅子が4脚しか置いてありませんでした。その椅子の主は星野ガバナーご夫妻、足立RI会長代理ご夫妻でした。前々回の静岡での地区大会ではステージ上に、ご来賓、パストガバナーが2列に並ばれ、途中の休憩後には前列のご来賓がほとんど退席され、1列目は1人だけで、見た目が良くありませんでしたが、今回はスッキリしていました。本会議は9時30分星野ガバナーの純金製の鐘の点鐘で始まり、休憩をはさみ勝間和代さんの記念講演、閉会点鐘は13時でした。本会議の印象に残ったことが3点ありました。

- 1、足立RI会長代理のお話を聞いていて、ロータリークラブの理念はキリスト教色が強いのかな。
 - 2、米山ホームカミングの干渉(ウエイ)さんの言葉「月14万円の奨学金のおかげで、月140時間が自由に、有意義に使える。」
 - 3、次回地区大会開催地アピールは大懇親会の時の方が良いのでは。
- 大懇親会、今回は会場も広く、ホテルお手製の食べ物、又、飲み物も豊富で非常に満足でした。次回の浜松も出席したいと思いません。

河田亮一君

初めての地区大会への参加でした。

驚いたことは参加人数の多さと、国歌斉唱の音量です。色々な団体の地区大会に参加していますが、国歌斉唱をあれほど大きな声で歌ったことは、自分自身覚えがありません。とても凛とした気持ちになりました。

式典の中で、米山学友の支援を受けられた中国人の方のお話がありました。とても素敵な女性で、立ち居振る舞いや声のトーンも人を惹きつける方だと感じました。その彼女が、そうやって世の中で活躍できているのが、ロータリーの米山財団のおかげだと思うと、ロータリー活動の意味を改めて感じる事ができました。また、休み時間には米山梅吉の伝記が販売されていたので購入しました。必ず読み切ります！

他にも文化に触れる機会や講演を聞いて刺激を受ける事ができましたし、一緒にいった皆様との親睦も深める事ができたので、参加して得られたことは多く、有意義な時間を過ごす事ができました。ありがとうございました。

太田成幸君

ロータリークラブに入会してから早一か月、初めて地区大会に参加してまいりました。参加人数の多さから、東海地区の集まりだと思っていたのですが、静岡と山梨の2つの県だけの集まりだと聞きおどろきました。新会員は前列に特別席が用意されていて、ガラガラの指定席で話す相手もない中、役員の方々の挨拶を聞き、聞きなれない用語が飛び交う内容に、ロータリーの勉強が必要だと思いました。挨拶や表彰などの一部が終わり、次回開催地の浜松より、プロのフラダンスチームによる演舞が行われ、目の保養となりました。次に、各会場での分科会として、新会員のセミナーが1Fチャペルで行われました。チャペルなど数十年前の友人の結婚式以来です。固く冷たい木の椅子に座らされ、おごそかな雰囲気の中で、講師の方を待っていました。予定時間を過ぎる事15分、お尻が痛くなり始めた所に星野ガバナーと今回の講師足立RI会長代理がやって来りました。

内容は「ロータリーとは」から始まり、ロータリーの奉仕とは何か？についての話となり、「決議23の34」のことについて展開されました。(序文)「ロータリーにおいて社会奉仕とは、ロータリアンの全てが、その個人生活、事業生活及び社会生活に奉仕の理想を適用することを奨励、育成することである。」とされています。この決議の6条までの説明の後、この決議が多くの物議を起した事についての説明がありました。

1978年に国際ロータリー75周年記念事業として「ヘルス・ハングリー・ヒューマニティー」の3つを基礎とした「3Hプログラム」が提案されました。「健康改善・飢餓救済・人間性向上」を目的としたもので、各クラブや地区のレベルでは扱いきれないような国際規模のプロジェクトをその対象としています。この3Hプログラムのひとつとして「ポリオ・プラス計画」が打ち出されたのですが、WHOの一翼を担って進められるこの計画が「決議23の34」の精神に反しているとされました。当時のハーバート・ピクマン事務総長は「3Hプログラム」の具体化に尽力し、ロータリーでの団体奉仕と位置付けたため、都合の悪い「決議23の34」は1984年の手続き要覧から突然削除されました。そして、1986年のシカゴ審議会で、社会奉仕に関する新声明を採用しようとしたが、日本の代議員がこれに大反対、この提案を撤回し「決議23の34」は残されることとなりました。そして、1988年の理事会において「決議23の34」を残す代償として、「ロータリークラブの他団体との協力」を決議しました。さらにこの後も「決議23の34」は物議をよびますが、2010年シカゴ規定審議会において釧路北ロータリークラブの提案により「社会奉仕の哲学の定義」として残されることとなりました。以上が新人研修の内容です。しかし、1つのことに90年以上こだわるとは驚きですね。

西原孝次君

先日の地区大会はお疲れ様でした。今年の地区大会はグループ編成変更後初めての大会で第1グループのホストクラブである三島RCは第1グループのブースでみまもろッケと三島人参ジュースを出しましたがあっという間に売り切れまして、分科会が終わって行った時は何にもなくてびびりました。皆様のご協力ありがとうございました。地区大会第1日目会長幹事さんが参加した日はRLIについてわかりやすい話として地区指導者育成セミナー「パート1、ロータリアンとして」という題で直接実践してみせました。RLIは特定のリーダーを育てることではない、一人一人の会員のリーダーシップ(指導力)を育てることであるという事です。人生は失敗だらけですし、人間そのものが欠点だらけで完全な人なんていないですから、そういう人達の集まりの中でロータリー精神である寛容の精神のもとそれぞれが助け合い成長し奉仕をしていくことで少しでも社会の為、世の中の為になれたいなと思って頂ければロータリアンになった価値があるのではないのでしょうか。ロータリーの第1目的は親睦と交流を深めて人を育てる事である。お互いに三島ロータリークラブを盛り上げていきましょう。

● ゲスト・ビジター

早川弘之君(伊東RC)
岩崎逸三君(沼津北RC)
水谷隆一君(伊豆中央RC)

● 会員祝事

会員誕生日: 富士博光君 星合義弘君
奥様誕生日: 伊丹克明君
結婚記念日: 浅倉幸久君

※紙面の都合でスマイル・新会員紹介は次号に掲載します。